



# 回加だより 2月号

発行元:〒859-2502  
長崎県南島原市口之津町甲3272番地  
長崎県立口加高等学校広報研修部



口加高校HP

『口加で咲こうか! 令和から始まる回加 New Generation!』

## 目標は一つ、されど通ずる道は数多(あまた)あり

口加高等学校長 狩野 博臣

### 春風や闘志いだきて丘に立つ(高浜虚子)

ここあやめが丘に吹き渡る早春の風を感じながら、橘湾の遠景を望む生徒たちの心にあるのは“闘志”でしょうか、いや“不安”や“寂しさ”かもしれません。

### 受験期を超えて手にする財産は 偏差値ではなし 順位でもなし

3年生の皆さんは口加高校を巣立つ時が来ました。この1年間、卒業後の進路を決めるため、ひたむきに努力する生徒たちを見てきました。早朝7時過ぎに学校に来て自学をする生徒、職員室で先生の横に座り面談を受けたり、質問をする生徒、寒い廊下や自学室で夜7時まで居残り学習をする生徒、大学の推薦入試や就職試験のための面接練習をする生徒・・

就職試験であれ、大学入試であれ、受験は合否を超えた大切なことを教えてくれます。例えば、努力の尊さ、その先にある喜びや自信、壁を乗り越えた達成感と充実感、周囲の方々への感謝。受験は孤独な戦いですが、同時に仲間や家族に支えられることで決して孤独ではないことを教えてくれるのも受験です。

また、「合格しました!」と涙を流しながら報告に来てくれた生徒もいる一方で、厳しい結果に涙した生徒もいました。しかし、不合格という厳しい現実を受け止めた経験も必ず生きる時がきます。人生路は決して平らではありません。山もあれば谷もあります。そういう時こそ、この受験期で得た財産を支えとして、自分の人生を切り開き、荒波にも耐え、乗り越え、たくましく生きていくことができます。努力は様々な形で報われるようになっているのです。

### 目標は一つ、されど通ずる道は数多あり

第一志望ではなく、第二、第三志望の進路先に進む生徒もいます。ちょっと考えてみてください。口加高校にたどり着く道は一本でしょうか。加津佐の野馬水から通じる道、口之津の東方から通じる道、久木山バス停から通じる道、口加高校前バス停から通じる道、テニスコートから通じる道・・。そうです。目的地(目標)にたどり着く道(手段や方法)は実はたくさんあるのです。ちょうど山の頂上へ通じる登山道がたくさんあるように。歩み続ければ必ず道は開ける。それが人生路です。

### 最後に、ある保護者のことばから

「親は子どもが小さかった頃の『かけっこ』の応援のイメージから脱出しないまま『がんばれ』『大丈夫か』を励ましの言葉としてしまいがちです。しかし、子どもは子どもなりに真剣に考え、戦いに臨んでいます。私たちができることは、子どもが迷っている時や疲れているとき子どもの心の支えになってあげること、子どもがどんな目的で何をしたいのかを一緒に語り合うことではないでしょうか。」

受験、進級、卒業、そして旅立ち...それぞれの立場で万感胸に迫る季節です。

## あ矢のせ



## 卒業式用「回サ」制作



2月14日(金)、青雲寮において母親委員による卒業式の教員用コサージュ作りが行われました。華やかなお花やリボンを準備していただき、心のこもったコサージュが完成しました。これまで母親委員の皆様には多方面からご支援いただき感謝申し上げます。

# 令和元年度を振り返って...

## 第3学年主任より

口加高校の最上級生として、学校をリードした一年が終わろうとしています。高総体、体育祭などではリーダーシップを発揮して、力強く後輩を牽引しました。また、放課後補習、模擬試験、学習合宿など、自分の夢を決めるには、想像以上の努力が必要なことを、自ら範を示すことで後輩へ伝えてきました。平成から令和へと時代が変わり、先の見えない世の中ですが、歴史と伝統のある口加高校で「時を守り・場を清め・礼を正す」を目標に力強く学んだ君たちだから、たくましく生きてくれることと信じています。

保護者の方々・地域の方々におかれましては、物心両面にわたり温かいお力添え、本当にありがとうございました。学校・保護者・地域、三位一体となって育てた自慢の生徒たちへ引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
3学年主任 東内 敏紀



## 第2学年主任より

今の自分を、昨日の自分と比べてみても、大きな変化は見えにくいものです。では、去年の4月とではどうか、少し思いを巡らせてみてください。...何も変わっていないことの方が珍しいですよ。この1年間での成長の幅を誰もが感じ取れるはずですよ。相手を理解し尊敬する心、周囲に対する気配りに基づいた言動、自己実現を見据えた視野の広げ方や学習への身の入れ方、世の中の変化に気付いて自ら問題解決に向かう力など、73回生一人一人が持つ素晴らしさを多く感じることができました。嬉しく、頼もしく思います。これからも「可能性の追求」をさらに続けていきましょう。368日後、この学年全員が口加高校を晴れやかな顔で巣立っていくことを期待しています。  
2学年主任 小原 義康



## 第1学年主任より

入学時から伝え続けてきたことは、『様々なことに挑戦して、たくさん失敗しなさい。その失敗こそが成長の種。そこで気づけばいい。何度も何度も立ち上がればいい。』ということです。ヒトは皆、不完全です。だからこそ、自身の心を奮い立たせ、前向きに言動すれば、いつまでも成長できるのですよ。勿論、私もそうです。まだまだ私も君達と一緒に成長しますよ。4月からは、君達は先輩になりますね。是非、今年度の先輩のように、憧れられる先輩に。その素質は十分ですから。3月は、そのための準備期間です。君達一人ひとりが、明るく・元気に・前向きに、『君色』を出し、口加高校に新しい風を吹き込んでください。いつも傍で見守っていますから、思いっきりやりなさい。更なる成長を期待していますよ(^^)v  
1学年主任 山内 徹



## 福祉科

今年1年毎日が初めての事ばかりで、福祉科職員も手探りで物事を進めて参りました。しかし、困った時にはいつも保護者・地域・関係団体の皆様の有難いご支援を賜りながら共に進められてきたことをとてもうれしく感じております。また、1期生17名も1年間の様々な経験を通して、毎日1歩ずつ確実に成長しております。17名が来年は2年生になり、新1年生と共に本県の次代を担う福祉の人財(人材)となるため、多くの事を経験し成長していけるよう職員一同全力でサポートしていきます。福祉科主任:森田潤也



## 生活創造コース

## 祝 「三冠王」取得!

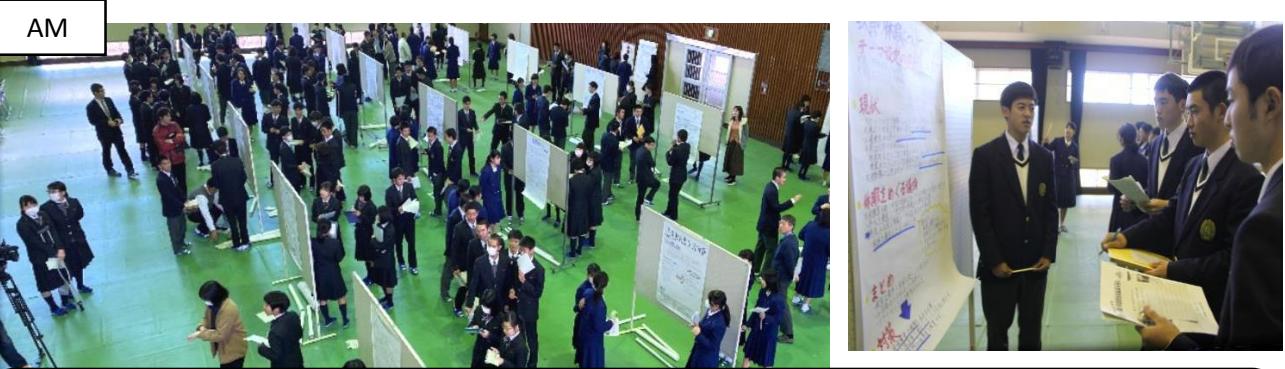


三冠王とは、全国高校家庭技術検定食物調理1級、被服製作洋服1級、被服製作和服1級の3種目全てに合格した者を言います。三冠王への道のりは険しく何度も心が折れそうでしたが、それを乗り越えて辿り着いた君たちがここにいます。生活創造コースを選択した当初から三冠王を目標にしてきた君たちは、技術力向上に向けて日々鍛錬してきたわけですが、粘り強さと集中力、強い精神力も手に入れたと思っています。社会人になっても、この手に入れた財産を多方面で生かし活躍してくれることを楽しみにしています。本当におめでとう!  
生活創造コース主任:田中 順子



# 「第2回探究学習発表大会」を開催!

令和2年1月28日(火)、本校体育館にて「第2回探究学習発表大会」を開催しました。午前中、普通コース生徒の1人1テーマによるポスターセッションを実施。午後からは福祉科による介護技術コンテストで発表した技術を披露し、昨年、韓国研修(県主催)を経験した3年2組植木さんによる「語学研修発表」、グローバルコースによる6つの発表とどの発表も素晴らしいものでした。そして今年も島原半島ジオパーク協議会大野希一事務局長に参加していただき、最後に講評をいただきました。また、今回は高知県立室戸高校の生徒5名のみなさんと遠隔システムを利用して意見交換を行いました。初めての試みでしたが、県を超えた交流に生徒も刺激を受けました。



ポスターセッションでは、1・2年生の普通科・福祉科合わせて123名が、それぞれに興味のあるテーマを自由に設定し、調べたことを模造紙にまとめ、発表しました。グループではなく個人で行ったため、準備は大変だったと思いますが、一人ひとりが責任をもってまとめることができました。発表や質疑応答がうまくいかずに戸惑っている生徒もいましたが、普段の授業では学ぶことのできない貴重な経験になったと思います。生徒のみなさん、本当にお疲れさまでした!(ポスターセッション担当:山本)

「介護技術コンテスト」と「研究発表」2つの発表を行いました。「介護技術コンテスト」では、1年4組の多良和美さんと藤下琴音さんが提示された課題を2人で分析し、利用者の方(モデル役:佐伯菜美さん)に合った最適な介護技術を考え発表しました。「研究発表」では、宮田彩加さんと吉田ひなたさんが「個を大切にしたケア」というテーマで、利用者を「集団」と「個」で見ることのメリット・デメリットについて探究した成果を発表しました。(福祉科:森田)



グローバルコースの発表では、6グループからそれぞれ今年度1年間の取組み内容および今後の展望を発表しました。どの班の発表からも、まさに激動の社会を生き抜くために必要な『主体性』と『協働性』、『学び続ける力』を身に付けていると実感しました。また、高知県立室戸高校さんとの遠隔システムを用いた交流も行われ、充実した発表になりました。(グローバル:山口)



# 「校内マラソン大会」を開催!

2月4日(火)、校内マラソン大会を開催しました。大会は、ボランティアとして3年生が約30名、PTAから10名近くの協力を得て、参加生徒全員が力を出し切り、無事終了しました。走り終わった後は、母親委員の方が作られた愛情いっぱいの豚汁に生徒・職員、PTA全員で舌鼓を打ちながらいただきました。



# 第42回 県立島原特別支援学校南串山分教室訪問

1・2年生有志のボランティア54名が、2月21日(金)に県立島原特別支援学校南串山分教室を訪問し、児童・生徒のみなさんと交流を行いました。本校生徒会が司会進行し、まずは吹奏楽部の演奏を楽しみました。「パプリカ」の曲が流れたときは、みんなで踊ったり歌ったりして盛り上がりました!その後、中学部のみなさんとは外で花の苗植えを行い、キレイな花壇を作りました。小学部のみなさんとは屋内でレクリエーションを通して身体を動かし交流をしていきました。分教室の生徒も、本校の生徒も、終始笑顔でとても楽しそうにいました。この訪問は、分教室が現在の校舎で昭和54年に開校記念式典を実施した時から続いている伝統ある行事です。今後も、交流を深めながら地域社会の一員として生活していきたいと思ひます。



# マイプロジェクトアワード2019九州Summit」に出場

グローバルコース観光班(1・2年生9名)が、2月22日(土)に九州産業大学で行われた「マイプロジェクトアワード2019九州Summit」に出場しました。九州各地から37プロジェクトが集まる中、観光班は「観光にお年寄りを巻き込む!~高齢化のメリット~」と題して約1年半の研究発表を行いました。予選・決勝と審査委員の方々からご助言をいただいたり、他校の生徒と探究活動について意見交換したりと、大変充実した時間となりました。



# 令和元年度 長崎県高等学校新人体育大会の結果

【新人駅伝大会】  
男子 17位 女子 7位

【男子バスケットボール部】  
1回戦 □加 58 VS 49 波佐見  
2回戦 □加 41 VS 85 諫早商

【女子バスケットボール部】  
1回戦 □加 33 VS 98 西陵

【女子バレーボール部】  
1回戦 □加 2 VS 0 長崎西  
2回戦 □加 0 VS 2 聖和女子

【男子ソフトテニス部】  
1回戦 □加 2 VS 1 佐世保南  
2回戦 □加 1 VS 2 西陵

【女子ソフトテニス部】  
1回戦 □加 2 VS 1 活水  
2回戦 □加 0 VS 3 長崎北

【男子卓球部】  
1回戦 □加 0 VS 3 清峰

【女子卓球部】  
1回戦 □加 0 VS 3 清峰

【サッカー部(予選)】  
□加 3 VS 4 島原工業

【野球部】  
中地区新人  
予選① □加 0 : 8 小浜  
予選② □加 0 : 1 0 創成館  
予選③ □加 1 : 8 大村工業

# 「第22回島原半島高校生卒業記念植樹(卒業の森)」に参加!

2月13日(木)10:00~12:00、「第22回島原半島高校生卒業記念植樹(卒業の森)」が、島原市足干本木砂防堰堤で開かれました。当日は、島原半島の高校生から卒業予定者約600名以上の生徒の参加があり、本校からも16名の卒業予定者が参加しました。天候にも恵まれ、絶好の植樹日和で参加しました。



※今年度「□加だより」は、これが最後の発行となります。一年間読んでいただきありがとうございました。なお、□加高校HPでも年間行事の様子はご覧いただけます。是非ご覧ください。

